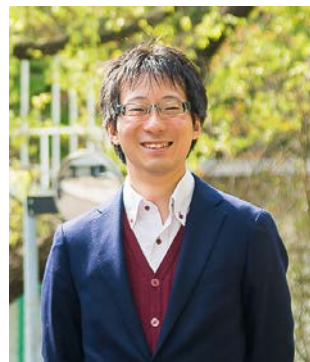


平成 20 年度学部卒 佐野栄俊さん



### 『夢だった天文学者へ』



Q1： この学科に入学した理由は何ですか？

天文学者になるのが夢だったので、天文学の共通言語である「物理と数学」を体系的に学べる環境を探していました。そんな時、予備校からのニュースレターで東邦大学の物理学科を知りました。物理学の基礎から、最先端の宇宙物理学や素粒子物理学まで幅広く学ぶことができるカリキュラムは魅力的で、ここなら、自分の夢の実現に向けて一步を踏み出せると強く感じ入学しました。

Q2： 現在はどのような仕事をされていますか？

東邦大学卒業後は名古屋大学大学院に進学して電波天文学を専攻しました。博士(理学)



の学位取得後は、JAXA 大学共同利用システム研究員、名古屋大学高等研究院特任助教を経て、2020 年 4 月からは国立天文台の特任助教として勤務しています。アルマ電波望遠鏡やエックス線・ガンマ線望遠鏡を駆使し、星の一生の最期の爆発現象を観測することで、宇宙物理学 100 年来の謎である宇宙線（宇宙を満たす高エネルギー放射線）の起源解明に挑んでいます。



Q3. サークル活動はやっていましたか？

弓道部に所属していました。最高の仲間や先輩・指導者に恵まれ、弓道はもちろんのこと、上下関係から礼儀作法まで、人生で必要なことを学べました。大学から始めた弓道でしたが、365 日欠かさず練習を続けることで、最終的には副将も任せてもらい、弓道四段や千葉県大会団体優勝、全国大会出場などの結果を残すこともできました。今でも部活時代の同期や先輩・後輩とは集まる機会があります。まさに、生涯の仲間を得られました。

Q4： 最後に、後輩に向けて一言

好きになったことをとことん突き詰めて欲しい。そして夢や目標をしっかり持って、その実現に向けた必要な努力を怠らないこと。東邦大学は、それができる最高の環境が十分に揃っていると思います。ぜひ勉強も部活も大学生活も、充実した日々を送ってください！